

編集後記

昨今、街中や電車のホームで携帯電話を使う人、いじくりまわしている人がなんと多いことか。“携帯電話のご使用は他のお客様のご迷惑になりますのでご遠慮下さい”というアナウンスが流れるバスの中、まったく無頓着に携帯電話で喋り捲る女子高生達を見ていると、お小遣いをどのくらい使っているのだろうか？親も大変だろうな、バイトで稼ぐのだろうか？勉強は？などなどと余計な心配をしてしまう。

もう既に、“どこでも、いつでも、だれにも、なんでも”というユビキタスサービスと言われる情報通信時代に入ってきたのであろう。つい数年前まで我が家はアナログ電話1回線にPHS電話1台であった。気がつけば今では家族4人が携帯電話を持ち、小さな家にも関わらずISDNの電話2回線にそれぞれコードレス電話親機が2台繋がり、その子機3台があちこちに散在するなか、更にインターネットに繋がった無線LANが各パソコンに電波を飛ばすという電波の過密状態になっている。さすがにこれでは異常であろうと以前からあるPHSを解約したが、まだ人の数より端末や回線数をはるかに多い。

このような状況は最近ごく普通の家庭でも見られるようになってきたのではないだろうか。ともかく、家庭においても、“どこの部屋でも、いつでも、誰でも、なんでも”利用できるというユビキタスの通信環境が徐々にできつつあると言って良さそうである。これは、移動通信技術だけではなく、半導体、部品、実装技術の飛躍的な進歩による大きな成果と言って良い。

願わくは、高齢層に近づきつつある小生を含む多くの人々にも情報通信技術の恩恵がいきわたるように見やすく使いやすい端末の研究開発が活発に行われ、これから世代間で情報通信に対するハンデキャップを感じさせない時代となることを望みたい。

本号では、この移動通信分野に関わる3件の論文を掲載した。また、トップには地球環境に関し第一人者である東京大学教授 山本良一氏の部長会における講演録を掲載することで、地球環境保全の重要性及び企業の責任と取り組みについて理解を深めて頂くことにした。

(M.F.)

アンリツテクニカル編集委員会

編集委員長／永井治男

編集副委員長／福田昌夫

編集事務局／笹尾紘一

山田博志

編集委員／横山博行

牟田敏保

竹尾佳己

野村 稔 小島利治 土屋富志夫 栗本猛男

古屋伸夫 大澤昭夫 園部洋治 橋津正晶

中野好典 金井誠之

アンリツテクニカル

80

2002年1月31日 発行（年2回発行 非売品）

発行人 永井治男

発行所 アンリツ株式会社

〒106-8570 東京都港区南麻布五丁目10番27号

TEL (03) 3446 - 1111

2002年1月30日 印刷

印刷所 アンリツ興産株式会社 デザイン・ドキュメントセンター

〒243-0032 神奈川県厚木市恩名1800番地

©アンリツ株式会社 2002 無断転載を禁じます。

問合せ先 アンリツテクニカル編集事務局

〒243-8555 神奈川県厚木市恩名1800番地

アンリツ株式会社 技術統轄本部企画室

TEL (046) 296 - 6527